

第24回 温泉関係功労者被表彰者（50音順）

氏名	年齢	役職等	功績概要
いわまつ 岩松 豪一 <small>ごういち</small>	71	社団法人宮城県温泉協会副会長	宮城県温泉協会役員として20年以上にわたり宮城県内の温泉の保護と適正利用の普及に尽力した。また、宮城県の自然環境保全として、豊富な知識と経験に基づき、温泉行政の推進に貢献した。
おおつか 大塚 正己 <small>せいき</small>	75	大塚医院院長	医院開設後、温泉療法医として地域の人々に医療を通して温泉の有用性、大切さを啓発している。また、昭和53年以来、群馬県温泉利用認定委員会の委員として、温泉利用の問題（硫化水素泉の適正利用、飲泉の審査等）に取り組むとともに、群馬県温泉協会学術部委員として、群馬県内の各温泉地の湯治の実態調査を行うなど、温泉の保護と適正利用に大きく貢献をした。
かつき 勝木 道夫 <small>みちお</small>	74	医療法人社団勝木会理事長 (財)北陸体力科学研究所理事長	健康づくりとしての温泉療法を積極的に取り入れ、多大な成果を挙げている。また、北陸温泉療法医会幹事として、地域の人々に医療を通して温泉の有用性、大切さを啓発した。温泉療法についての研究に尽力し、「健康増進と温泉療法」をテーマに多くの講演を行うなど温泉療法の普及・発展を通して温泉の適正利用の推進に大きく貢献をした。
かわむら 川村 陽一 <small>よういち</small>	73	医療法人社団主体会理事長 社会福祉法人青山里会理事長	温泉病院での治療を通して温泉医学を研究し、高齢者温泉浴やりハビリの実践、温泉入浴指導員養成講習会の講師など温泉療法の活用の有用性等を啓発している。また、健康と温泉フォーラムに関与し温泉医学の普及啓発活動を通して温泉の適正利用の推進に大きく貢献をした。
さかい 酒井 幸子 <small>ゆきこ</small>	59	群馬県高崎環境森林事務所次長	群馬県衛生研究所（現在環境衛生研究所）において、温泉の分析等研究調査に従事し、群馬県内全域に関し、温泉水のゆう出流動解析など多くの研究を行い、学術研究の面から温泉資源の保護と適正利用の推進に貢献した。 また、温泉化学分析に関して、温泉水中の微量成分、温泉成分の地域的分布の特徴等数々の研究報告を温泉科学、温泉工学会誌等の学術雑誌に報告した。 さらに、環境庁の「温泉の各種利用基準に関する調査検討委員会」委員（H9）として参画すると共に群馬県温泉保護対策専門委員として温泉の保護と適正利用の推進に大きく貢献をした。
たけむら 竹村 節子 <small>せつこ</small>	67	(株)現代旅行研究所 専務取締役	旅と温泉をテーマとした研究・出版・執筆を展開している。著書多数。特に平成14年に出版された「私説現代温泉論」では、氏の長年の経験の集大成として温泉に対する見識を紹介しており、「日本の温泉が人類を救う」をテーマとして活動を行っている。 また、環境省の「温泉の保護と利用に関する懇談会」委員として活躍し、平成16年6月に中間報告を取りまとめるなど温泉資源の保護と適正利用の普及啓発の推進に大きく貢献をした。
たなか 田中 信行 <small>のぶゆき</small>	63	鹿児島大学病院教授	鹿児島県霧島分院に勤務後、温泉療法の研究を続け、温泉医療関係の論文として「高齢者の入浴による運動耐性の改善」や「入浴の深部体温と循環動態の効果」など数々の論文を発表している。 また、鹿児島県温泉審議会委員、自然環境保全審議会委員、環境審議会温泉部委員として通算10年間以上にわたり鹿児島県内の温泉の保護と適正利用の推進に尽力し、温泉行政の推進に貢献した。

氏名	年齢	役職等	功績概要
たにざき 谷崎 勝郎	65	岡山大学医学部・歯学部附属病院三朝医療センター長	岡山大学医学部附属病院三朝分院勤務後、講師、助教授、教授と医療現場に携わり、20年間以上にわたり、呼吸器疾患の温泉療法の研究に尽力するなど温泉の適正利用の普及啓発の推進に大きく貢献をした。
にしむら 西村 正伸	60	山口県自然環境保全審議会温泉部会委員	山口県の著名な温泉地である湯田温泉において、温泉配給組合理事・理事長として20年以上にわたり温泉利用施設を束ね、温泉資源の保護と温泉地の振興に寄与した。 また、山口県温泉協会会長・副会長として17年にわたり温泉の保護と適正利用に尽力し、温泉行政の推進に貢献した。 さらに、山口県温泉審議会委員・自然環境保全審議会温泉部会委員として通算16年以上にわたり山口県内の温泉の保護と適正利用の推進に尽力し、温泉行政の推進に貢献した。
のむら 野村 哲	70	群馬大学名誉教授 群馬県自然環境保全審議会委員（温泉部会会長代理）	群馬県温泉審議会委員・自然環境保全審議会委員として通算19年間にわたり群馬県内の温泉の保護と適正利用の推進に尽力し、温泉行政の推進に貢献した。
はしづめ 橋爪 清	57	三重県科学技術振興センター保健環境研究部総括研究員兼衛生研究グループリーダー	三重県科学技術振興センターにおいて、温泉の分析や水道水の分析のトリチウム測定や微量元素に関する研究等についての研究成果を学会誌に報告している。 また、平成元年には「低沸点有機ハロゲン化合物による飲料用地下水汚染とその除去に関する研究」に対して三重大学で医学博士の学位を取得するなど温泉水の分析を通して温泉の保護と適正利用の推進に大きく貢献をした。
ほり 堀 是治	63	(社)山形県温泉協会常務理事	蔵王温泉旅館組合青年部役員、副組合長並びに組合長として通算32年間、また、(社)山形県温泉協会にて常務理事として10年以上の永きにわたり、山形県内の温泉の保護と適正利用の普及啓発に尽力した。 また、温泉問題研究委員会副委員長(H2~)、源泉状況調査委員会副委員長(H6~H15)を通じて山形県内温泉地の重要課題に取り組んでおり、温泉行政の推進に貢献した。
むとう 武藤 倫子	60	秋田県衛生科学研究所理化学部長	秋田県衛生科学研究所において、約10年間にわたり温泉分析業務に従事し、その後も温泉の保護を目的としたモニタリング調査等を行っている。 また、温泉水の化学成分の変動要因等に関する研究を温泉科学、温泉工学会誌等の学術雑誌に発表している。さらに、分析手法を用いて、温泉水中の重金属、放射性成分の分析など幅広く温泉資源の保護と適正利用の推進に大きく貢献をした。
洞爺湖温泉 利用協同組合	-	-	中小企業等協同組合法に基づき設立された協同組合であり、昭和45年に資源保護を目的とした温泉の集中管理施設の建設をし、洞爺湖温泉街全域に均一な温泉供給施設を構築した。また、平成11年には、温泉資源の保護と安全保護のために資源監視システムと源泉制御装置を建設し温泉供給施設の再構築を行い、温泉の保護と適正利用の推進に貢献した。